

ツクネグモ

Phoroncidia pilula (Karsch)

新蛛亜目
METATHELAE
ヒメグモ科
Theridiidae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由 県内では標高200~700m地帯の森林の林縁などで人為干渉が進み、生息する樹皮、草地などでの安定した生息が確保できなくなった空間が拡大されている。

県内分布 ほぼ県内全域

分布域 本州 四国 九州

生息環境 山地林縁、林内のギャップ間縁など明環境にある樹林の樹枝や草木を利用して造網(1本の粘り糸をはるだけ)。

現 状 県内全域で、1988年ごろから特に個体数が減少しはじめ、1999年10月現在までこの傾向は継続している。

ハラダカツクネグモ

Phoroncidia altiventris Yoshida

新蛛亜目
METATHELAE
ヒメグモ科
Theridiidae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 掲載なし

選定理由

県内分布 山国町

分布域 本州 九州

生息環境 陰樹林内の岩裂や、地表面のシダ類などの草間に生息。

現 状 山国町野峠などに極めて希。

備 考 1981年5月31日、山国町天の岩戸岩窟入口で確認。1985年、吉田哉により新種記載。

オオツリガネヒメグモ

Achaeearanea tubulata
Levi

新蛛亜目
METATHELAE
ヒメグモ科
Theridiidae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 掲載なし

選定理由

県内分布 湯布院町小田の池、由布岳東南麓、石垣原、戸次河原、三軒茶屋

分布域 本州 九州

生息環境 崖地のくぼみなどに立体網、その中に砂粒などで釣鐘状住居をつくってひそむ。

現 状 現地では、県内分布種として確認地点が極めて少ない。

備 考 1981年6月14日湯布院町小田の池で確認。1983年吉田哉により *Achaeearanea nipponica* Yoshida とされたが、1980年に *A. tubulata* Levi であることが判明した。